

# とまこまい 市議会だより

TOMAKOMAI CITY  
COUNCIL NEWS

第28号

令和2年2月1日発行

■ 編集・発行・お問い合わせ先：苫小牧市議会 とまこまい市議会だより編集委員会  
〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号  
TEL 0144-32-6785 FAX 0144-33-1839

第4回臨時会を開催しました。  
(令和元年10月28日(月))

第5回定例会を開催しました。  
(令和元年12月5日(木)～13日(金))

市長に  
お聞きします～

部長はなんて  
答えるのかな～

◎ 統合型リゾート(IR)の  
誘致に関する決議を可決!

◎ 苫小牧市受動喫煙防止条例  
が可決

## Contents

■ 第4回 臨時会	.....	P 2
■ 第5回 定例会	.....	P 3
■ 常任委員会	.....	P 4
■ 特別委員会	.....	P 5
■ 会派のページ	.....	P 6

■ ピックアップ	
第4回 市議会だよりフリートーク	..... P12
第5回 議場コンサート	..... P12

■ 議会日程のお知らせ	..... P12
-------------	-----------

## 第5回 定例会（令和元年12月5日～13日）

# 苫小牧市受動喫煙防止条例が可決 令和2年4月1日より施行



第5回 定例会風景

第5回定例会は12月5日から13日までの9日間の会期で報告3件、陳情2件、議案12件、諮問1件、意見書案1件などの審議がおこなわれました。

今定例会で一般質問に登壇した議員は20名で、主な内容として、IR（カジノを含む統合型リゾート）については多くの議員から現状や今後のあり方について質問や議論がなされました。その他に、福祉行政、教育行政、防災行政などについて活発に質問や意見・要望が提案されました。

会期の後半には、各常任委員会・特別委員会が開催されました。

## 令和元年度 苫小牧市一般会計 補正予算（第6回）

歳入歳出予算総額に **4億3,588万9千円** を追加し、  
歳入歳出の総額を **793億7,907万6千円** としました。

主なものは

### 個人番号カード利用環境整備事業費 → 614万円

令和2年度実施予定のマイナポイント事業に伴い、マイキーID設定支援や広報啓発の実施



個人番号カード

### 小学校・中学校図書館用 図書整備費 → 805万円

小・中学校の図書整備



### 児童相談複合施設整備事業費 → 2億6,579万3千円

児童相談体制の強化のため、令和3年1月使用開始を目標に児童相談複合施設を整備

### 陳情の審査

- ①日本原研令和2年度以降の幌延深地層研究計画(案)の撤回及び幌延深地層研究センターの廃止を求める要望意見書提出に関する陳情 → 不採択
- ②要介護1・2の訪問介護・通所介護の総合事業への移行とケアマネジメント利用の自己負担を行わないことを求める要望意見書提出に関する陳情 → 継続審査

## 苫小牧市受動喫煙防止条例の制定について

### 1 条例制定の目的

受動喫煙による市民の健康への悪影響を未然に防止するため、市、市民、保護者及び事業者の責務を明らかにするとともに、受動喫煙を生じさせることのない環境の整備を促進し、市民一人一人が生涯にわたり健やかに暮らせるまちの実現を目指して、本条例を制定する。

### 2 条例の概要

#### (1) たばこの定義

・加熱式たばこについては、紙巻きたばこと同様の扱いとする。(第2条)

#### (2) 市等の責務

・市は、自ら設置し、又は管理する施設について、受動喫煙による市民の健康への悪影響が生じないように適切な措置を講じる。(第3条)

・市民は、通学路、公園その他の公共の場所において受動喫煙を生じさせない。(第4条)

・保護者は、いかなる場所においても、その監督保護に係る20歳未満の者に対し、受動喫煙による健康への悪影響を未然に防止する。(第5条)

・事業者は、事業活動を行うに当たり、受動喫煙を生じさせることのない環境の整備に取り組む。(第6条)

・市、施設の管理権原者その他の関係者は、相互に連携を図りながら協力する。(第7条)

(3) 受動喫煙を防止するための措置(第8条)、標識の掲示(第9条)

### 3 施行期日

令和2年4月1日

## 第4回 臨時会（令和元年10月28日）

# 一般会計補正予算(第5回)・統合型リゾート(IR)の誘致に関する決議を可決!

第4回臨時会は10月28日に1日間の会期で報告2件、議案1件、決議案1件の審議がおこなわれました。

今臨時会では、市が提出した補正予算案「苫小牧国際リゾート構想環境影響調査事業費(1,798万6千円)」と、議員提案による決議案「統合型リゾート(IR)の誘致に関する決議」が審議され、ともに賛成多数で可決されました。

決議案に対する各会派の主張につきましては、下記をご覧ください。

## 統合型リゾート(IR)の誘致に関する決議案に対する会派主張

### 会派名(賛否) 主張

**新緑(賛成)** IRは、新たな成長戦略の一つとして、雇用の創出や地域経済の活性化が期待できます。本市は、国際空港と国際港湾を擁(よう)し、日本型IRに期待されている国内外のゲートウェーとなることのできる優位性を持ち、北海道の観光・産業の発展に貢献できるものです。しかしながら、IRには自然環境対策やギャンブル等依存症対策の実効性確保などの課題があり、具体的な対策を示すべきです。申請主体となる北海道は、これらの懸念を払拭し、IRの誘致に向けた取り組みを進めるべきです。よって、本市の苫小牧国際リゾート構想に掲げるIR誘致へのチャレンジの取り組みを支持すると共に、区域の一つに選ばれるよう、誘致に対する活動を推進します。

**公明党議員団(賛成)** 我が公明党は、推進派です。誰もが予想していなかった「人口減少」「少子高齢化」の流れは大きく、この自治体も知恵を振り絞(しりしり)りあらゆる角度から対応を考えているが、決定打はどこにもありません。今回の「IR」については、大事な財源確保の場であると共に、流失が続く未来を担う学生達やこれからの子供たちの将来の受け皿ともなります。ただ、今回の「決議」においても、もろ手を挙げてではなく、私たち会派が決議書の中に「ギャンブル依存症」と「環境破壊阻止」を盛り込ませました。世界の有名地・ラスベガスやシンガポールなどの実態を見ますと、単なる感情ではなく、きちっと法整備をする事で、ギャンブル依存症も犯罪率も下がっておりますことが現実です。よって、私たち会派は賛成しました。

**民主クラブ(反対)** 今回の決議は、IR誘致を積極的に推進することを表明するものであります。カジノ施設を必要とする根拠や考え方を示されることもなく、IRが雇用の創出や地域経済の活性化といったバラ色の未来を強調され、カジノ施設のデメリットとして危惧しているギャンブル依存症対策や治安の悪化の恐れについては、本市と北海道にその責務を果たすことを丸投げにされました。本当にIRが日本経済を救い、人口減少、少子高齢化対策となるものであれば、全国47都道府県が誘致を表明するはずであります。この決議に対しては、市民議論が進まない中、市民の意向を封印するもので、議会だけで決することは、市民理解が得られるものではなく、反対の立場を貫きました。

**改革フォーラム(賛成)** 「統合型リゾート(IR)の誘致に関する決議案」については、①IR誘致の可能性を追求することは、苫小牧市の安定的な将来を築く上で、大切な選択肢の一つ ②北海道がIRに対するビジョンや覚悟を示さず、苫小牧市議会の議決を求めるものなら遺憾である ③IRの概要、インフラ経費、もたらす経済効果など、不透明な現段階で、白紙委任するような決議にはのれない ④過度にメリットだけを強調することは、今後の議会議論に影響を与える懸念があり、今後のプロセスにしっかり向き合っていくことが大切。以上4点を会派の考えとして定め、決議案の調整に臨み、私どもの考えが決議案に一定程度盛り込まれたことから、賛成の立場をとらせていただきました。

**日本共産党市議団(反対)** IR誘致推進の議会は、IRに対する市民理解が得られていない現状から拙速(せっそく)であったと考えています。ギャンブル依存症や自然環境への影響、青少年の健全育成への影響など、懸念される諸課題の対策は「検討中」あるいは「これから検討」段階であり、議会として判断できる材料は揃(そろ)っておらず、市民の不安は払拭(はら)できません。経済効果や雇用の創出などをIR誘致の理由にしておりますが、経済波及効果の数字の算定根拠は不透明であることも明らかであり、IRに集客した場合の周辺商業施設へのマイナス効果も検証されていません。カジノ収益に頼るIRを「起爆剤」とするまちづくりは、健全なまちづくりとはいえません。

**会派市民(賛成)** 私たちはIRが持つ、多くの旅行者を引き付ける施設として素晴らしいものであることは認めてきました。しかし、カジノがあることによって市民の中に賭け事への依存症、特に会社のトップが依存症になることによって全く関係のない従業員が路頭に迷う事態を引き起こしかねないことなどから反対してきました。しかし市は賛成議員を半数以上確保しました。そうすると反対の議員の意見が市政に反映されなくなります。そこで会派市民はIRに北海道民は入れないカジノを求めました。そうすれば市民の常習性が抑えられ、依存症になりません。市はそれをいれ北海道と必ず話し合うことを約束しましたので決議案に賛成しました。

**無所属 触沢高秀議員(賛成)** 苫小牧市は豊かな観光資源と充実したアクセス経路が備わっています。観光業(人の流れ)が伸び悩んでいるのは何か訪れるきっかけが足りないと考え、そのきっかけ作りにIRの導入は効果的であると考えます。苫小牧臨空エリアを中心に地域の特性を活かしたIRを設立することによって、苫小牧市に滞在する観光客は増え、各産業の経済に良い影響をもたらすと考えます。物消費から事消費に消費が移っている時流をつかむにはIR事業は最適な事業だと捉えています。苫小牧の未来を考え、さまざまなリスクもありますがチャレンジしていきたいと思っております。

# 常任委員会

## 総務委員会

陳情を全会一致で不採択！

越川 慶一 委員長

「幌延深地層研究計画（案）」の撤回及び幌延深地層研究センターの廃止を求める要望意見書提出に関する陳情」が市民団体から提出され、陳情者の主旨説明後、委員からは、幌延町長と北海道知事が研究期間延長受け入れ表明をしたことなどに触れる質疑がおこなわれ、審査した結果全会一致で不採択となりました。

所管事項は、今後想定される社会情勢の変化に対応する第2期苫小牧市総合戦略骨子の策定、中心市街地活性化のCAPプログラムパート3検証結果の報告、新たな時代認識のもと検討されている令和2年度以降の行政改革プラン（仮称）素案の策定、電子自治体の実現を目指す新苫小牧市地域情報化計画（案）の説明を受け、それぞれ活発な議論がおこなわれました。



委員会風景

## 厚生委員会

苫小牧市立病院患者サポートセンター  
令和2年6月開設（予定）！

宇多 春美 委員長

現在、地域医療連携室などで利用している1階スペースを改修し、患者サポートセンターが設置されます。サポート体制は、地域医療連携部門・医事部門・看護部門の業務が再編統合され、利用者の利便性向上が図られます。また、患者さん・ご家族の交流や情報交換の場として、がんサロンが併設されます。

旧トマモール石綿除去について旧店舗内の石綿除去作業（令和2年1月末完了予定）、旧店舗解体作業（令和2年2月中旬完了予定）、4工区撤去作業（令和2年1月末完了予定）、ガレキ類の分級洗浄作業、水処理などの作業現状の説明を受けました。他にプレミアム付商品券事業の経過などについて質疑がありました。



患者サポートセンター設置予定箇所

## 文教経済委員会

フモンケ地区  
維持管理の方法について質疑

大西 厚子 委員長

所管事項の「フモンケ地区維持管理の方法について」では、「国営造成土地改良施設整備事業フモンケ地区」の排水路工事が令和元年12月に終了し、国が以後の施設の維持管理を受益自治体である苫小牧市と安平町に委託する予定であることから、受益面積割合が少なく本市から安平町へ管理事務を委託する予定であるとの説明がありました。委員からは、協議の方法や他自治体の実績について、今後計上される予算の概要についてなどの質疑がありました。その他、「オリンピックマラソン競歩競技の開催について」では札幌開催との関わりや宿泊客の流れに関する考え方、本市としての観光振興策、港まつりとの関連について質疑がおこなわれました。



改修されたフモンケ地区の排水路（通浅川）

## 建設委員会

市営住宅入居者の要件緩和へ！

富岡 隆 副委員長

市は、市営住宅に市民が入居しやすいよう、緊急時の連絡先の確保を前提に、保証人制度を廃止することが報告されました。施行日は令和2年4月1日以降の実施になる予定です。

また、単身世帯の申し込みが近年増加していることから、入居資格要件を3DKまで拡大すると同時に入居者の選考方法についても条例を改正し、連続申し込み年数に応じて抽選回数を増やす抽選倍率優遇措置の見直しをおこないました。施行日は令和2年6月1日となっております。

質疑では、保証人が廃止されることで、滞納された方に対する対応や単身世帯の入居資格要件の拡大に踏み切った理由について活発な議論が交わされました。



委員会風景

# 特別委員会

## 総合開発特別委員会

長崎県IR構想を視察調査！

竹田 秀泰 委員長

委員会の視察調査で、苫小牧市が考えるIR構想との比較検証を目的に長崎県におけるIR構想の動向について、新千歳空港の民間委託を目前に控えていることを受け、既に民間委託を実施している大阪国際（伊丹）空港の現状について報告しました。さらに、苫小牧東部開発の推進や港湾機能の強化などについて、関係する中央省庁へ要望活動をおこなったことを報告しました。

所管事項では、米軍機訓練移転計画概要、日豪共同訓練の実施結果、航空機部品落下事案、苫小牧港東港区ガントリークレーン事故の報告、北極海航路を利用したコンテナ貨物輸送の実施などの説明を受けた後、各委員より活発な質疑がありました。



長崎県IR構想視察風景

## 安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会

PFI※1の手法を担う事業者選定へ！

松尾 省勝 委員長

所管事項は2件であり、災害時応援協定に基づき、台風19号の被害を受けた岩手県宮古市から、給水支援を要請する申し出があり、上下水道部職員を中心に職員を派遣された報告がありました。（仮称）市民ホールの整備手法と進め方については市は、初めてPFIの手法を取り入れ、運営を担う事業者を令和4年度に決定する方針を明らかにしました。

複数の委員から「地元企業」の参画や活用についての幅広い意見や質疑があり、市側は、事業者選定での審査基準で加点評価の対象に盛り込むことや工夫を重ね、出来る限り、人材や資材確保についても、配慮して進めるとの考えを示しました。



委員会風景

## 議会アンケート

苫小牧市議会では、開かれた議会を目指すための取り組みとして、9月定例会の傍聴にお越しいただいた方へアンケートを実施いたしました。

アンケートの中で、「議員同士の話し声」や「議員の議場入場時間を早くできないか」などの意見をいただきました。これらについては、改善に向けて、全議員へ周知を図ってまいります。

## 全員協議会を開催し、議員定数を議論！

11月27日及び12月13日に「議員定数」を案件とした全員協議会を開催しました。

現在の議員定数28名に対して、各議員からは現状維持や定数削減、さらに定数増加などのさまざまな意見が述べられるとともに、これまで実施してきた定数削減に伴う検証の必要性や、補欠選挙が執行されるまで2名欠員の26名で議会運営していた実情、さらに委員会

すべてのアンケート結果は苫小牧市議会ホームページでご覧いただけます。



### 議会・議員に期待することは何ですか（複数回答可）

1 市政へのチェック	74 件
2 積極的な政策提案	73 件
3 議員の政治姿勢（政治倫理の遵守など）	60 件
4 市民の声の反映	94 件
5 市議会だよりの充実	15 件
6 ホームページ等を活用した情報発信	7 件
7 その他	5 件
・政策を実行するように	
・中継（ネット）を過去分も見られるようにしてほしい など	
8 無回答	20 件

数のあり方や投票率低下の課題などについて、多岐にわたる意見が出され、議員間での討議がおこなわれました。

議員定数については、新人候補予定者にも配慮し、20年12月までには結論を出すことが決定していることから、今後とも活発な議員間討議によって議論を深めてまいります。



全員協議会風景

※1 PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）  
公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行う事で、効率的かつ効果的な公共サービスの提供を図るという考え方。

新緑



矢嶋 翼 議員

★次年度からの小学校英語授業実施の取り組みについて質問し、外国人指導助手（ALT）の活用強化と、中学英語教員の小学校乗り入れ授業実施検証のため、一つの中学校区を連携研究として取り組みと答弁がありました。また、夏休みにまちなかでALTによる「イングリッシュ・カフェ」を開設し、気軽に英語に触れられる機会をつくると答弁がありました。

★まちの活性に意欲をもつ市職員有志による、仮称「とまこまい盛り上げ隊」結成を提案し、職員が地域での活動や活性化のために汗を流すことは重要で、チーム結成への展開も検討すると答弁がありました。



木村 司 議員

★総務常任委員会において、新たな行革プラン素案について質問しました。市では、職員の削減など量的改革ならびに民間活用を進め

てきました。現プランでは、行政費用の抑制と市民サービス向上という難問にチャレンジし「総合窓口」が象徴的な取り組みとして結実しました。新プランでは、発想の転換により「まだないもの」を創り上げる取り組みを積極的にし「総合窓口」の成功例をもとに「ふくしに関する総合窓口」の検討などを始めていきたいことと「行革プラン」と「新地域情報化計画」との整合性・連動・連携を重視し一層の市民サービス向上に繋がりたいとの答弁がありました。



金澤 俊 議員

★今定例会の厚生常任委員会、「苦小牧市総合防犯計画（案）」と「苦小牧市防犯カメラ設置5カ年実施計画（案）」が示されました。現在、防犯カメラの設置は市内で334台。計画案によれば20年度からの5カ年で15台の設置が予定されていますが、市全域を網羅するにはまだまだ設置が必要です。そのため、市全体に必要な台数及び費用を算出し、全体計画を策定



竹田秀泰 議員

した上で、各実施計画を進めることを今後検討すべきと提案させていただきました。防犯のまちづくりのため、犯罪の抑止と犯罪発生後の事件解決には不可欠な防犯カメラの設置を今後も促進してまいります。

★高齢者ドライバー対策について18年6月に引き続き質問し、今議会でも、国は20年度より高齢者を対象に安全運転支援装置の購入補助制度を検討しており、苦小牧市も令和3年度実施に向け、アクセルとブレーキの踏み間違いによる急発進の防止装置の後付などの補助制度を検討中であると答弁がありました。

★20年度から始まる新たな待機児童解消に向け認定こども園への移行、小規模保育園増設の考え方が示され、保育士確保が非常に重要であり、保育士確保に向け市の補助制度創設を検討できないか質問し、新たな取り組みについて精査したいと答弁がありました。



宇多春美 議員

★カンボジア訪問の子ども国際交流事業において、11名の中高生がSDGsを通し素晴らしい学びをしました。市もSDGsのゴールを各施策に位置づけるとともに、市民や企業市民にSDGsの取り組みを広げることを求めました。

★高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施において、高齢者自らが地域づくりの担い手となり、健康と生きがいにつながるよう、誰もが集い活動ができる「通いの場」の取り組みを求めました。

★産前・産後ケアについて、Momsサロン事業の回数を増やすことと、子育て支援センターに保健師・助産師を常設し、産前産後の母子に寄り添うことを求めました。



板谷良久 議員

★環境アセスメント（環境への影響を事前に調査すること）が必要ではない50ヘクタール未満の開発

であるにもかかわらず、それに準じた調査をおこなうことが必要と判断し、その必要としない調査期間が3年程度かかることを理由に、鈴木知事はIR認定申請を断念しました。また、岩倉市長と直接話をすることもなく、経済8団体の要望を非公式にしか受け取らなかつた知事の判断プロセスにも大きな疑問を感じています。それでも苦小牧市は人口減少と少子高齢化に対応するまちづくりのために、交流人口の増加による地域経済の活性化が必要であることを質問しました。



二新 多喜 議員

★苦小牧駒澤大学のこれからのについて、地元学生に魅力ある学部の創設を要望しました。

★妊娠期のお母さんは体のバランス変化で歯周病にかかりやすく、早産・低体重出産のリスクが数倍に跳ね上がることから、妊婦歯周病検診事業を要望しました。

★橋梁長寿命化修繕計画の進捗について、インフラ老朽化が進む中

で19%しか計画が進んでいないことを確認し、次期計画改定時には、計画をより進めるように要望しました。

★土砂災害対策について、土砂災害防止法に基づく市の調査状況と対策を確認させていただきました。



山谷芳則 議員

★苦小牧市で生まれた子どもたちのために本市で活躍できる環境を整備したいと思い、中小企業創業サポート事業と若者の創業支援について質問し、現状では個人事業

が中心となる小規模企業が多く、高い担税能力を有し、雇用を創出できる企業の創業を促進していくことは難しいことを確認しました。

★意欲や勢いがある若者たちが創業しやすい環境づくりを進めることが街を活気づけると考え、近年一定の効果をあげて注目されているスタートアップ支援を進めることを提案し、本市の特徴や経済・社会環境の変化、時代のトレンドを踏まえた経済政策の展開を進めていくと答弁がありました。

市民派

桜井 忠 ・ 谷川 芳一



桜井 忠 議員



谷川芳一 議員

■ 一般質問

1. IRについて

- (1) 知事からの報告は。(ない)
(2) 理由はアセスメントに時間がかかるからか。アセスに時間がかかるのはわかっていたのでは。(道条例でアセスが必要ない開発)
(3) 市は環境問題を過小評価していたのでは。(十分配慮していた)
(4) MAプラットフォームはどうか。(現時点では影響は少ない)
(5) 道は断念ではないと言っているが、可能性のない問題に振り回されるのではないか。(道とまず協議)
(6) IR 抜ききの市発展はどう考える。(当初のものづくりの街と臨空ゾーンを発展させたい)
(7) 臨時議会まで開き、決議案は慣例を破り多数決で決した。これは正しい前例か。(IR 誘致のチャレンジを進める上で大きな決断)
(8) 今回の責任をどう感じるのか。(これまでの責任は感じている)
(9) アメリカの事業者が道、市、民

間を訴えることはないのか。(現時点では聞いてない)
2. アイヌ語地名や歴史などの看板設置について
(1) 苦小牧の由来について。(略)
(2) 胆振の由来について。(胆振組がどこか確定していない)
(3) 細石刃について。(人類が日本へ来た・北ルートということを示したい)
(4) 宮沢賢治について。(看板ではなく市民活動で広めたい)
(5) 吉田拓郎「落陽」について。(一つの観光資源として発信したい)
(6) アイヌ語地名について。(小糸井の由来は糸井山神社に碑がある)

- 3. 公職選挙法、政治資金規正法
(1) 食事代などについて。(消費税は法成立時にはないが納税義務者は事業者、社会と法が乖離しないよう国に申し入れる)
(2) 茶菓について。(ペットボトルなど法成立時にはないものがある)
(3) 後援会活動の制限について。(選挙類似行為は制限される)
(4) 候補者の生活費について。(生活費の項目はない、議員の成手確保の見地から関係機関に意見する)

# 民主クラブ

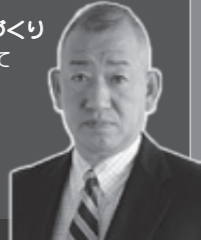
松尾 省勝・岩田 薫・佐々木修司  
橋本 智子・小山 征三

★国際リゾートエリアを含む東部東地域の環境について質問しまし

## 橋本智子 議員

### 【一般質問通告内容】

- 1 政治姿勢
  - (1) IRの今後について
  - (2) JR北海道単独維持困難路線区について
  - (3) 2020年度予算について
- 2 安全・安心のまちづくり
  - (1) 大雨対策について



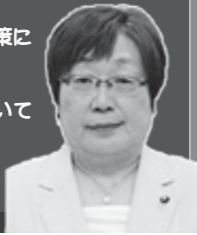
★IRの今後について、鈴木知事がIRに挑戦するが、申請を断念したこと、岩倉市長は「非常に残念」として、今後判断に至った経過など北海道に確認するつもりです。MAプラットホームについては、IRとは異なる事業であることから影響は少ないとしました。市の今後の体制や取り組みは、北海道の説明を受けた後に協議検討するとの考えを示しました。

★人口減少対策として本市への移住を促進するため、夏場の冷涼な気候を前面に出した長期滞在（お試し移住）の推進を提案しました。市側は、一時道内の多くの自治体

## 佐々木修司 議員

### 【一般質問通告内容】

- 1 政治姿勢
  - (1) 核兵器禁止条約について
- 2 国際リゾートエリアを含む東部東地域の環境について
- 3 児童虐待防止と対策について
- 4 男女模範議会について



た。IRの計画は当面なくなりませんが、国際リゾート構想は継続しており、この地域の自然環境の調査について今後の展望などを聞きました。

★20年施行される改正児童虐待法の本市での取り組みについて質問しました。

★男女模範議会について、議会や市政への関心向上のためにも今後の継続と取り組み状況について聞きました。

保・育成の評価から医療・介護の多職種連携について質問しました。



## 松尾省勝 議員

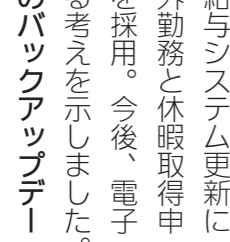
### 【一般質問通告内容】

- 1 政治姿勢
  - (1) 苫小牧国際リゾート構想について
  - (2) 苫小牧駒澤大学について
- 2 市職員の確保について
- 3 移住、定住、長期滞在の促進について



で取り組んだが実際の移住にはつながらず廃止した自治体も多くあることから、令和元年度から開始した「移住ガイド」（移住検討者の要望をもとに移住後の生活をイメージできるよう職員が市内巡覧を計画し案内するもの）に取り組むことなどにより、移住促進を図っていききたいとの考えを示しました。

とがわかりました。



## 小山征三 議員

### 【一般質問通告内容】

- 1 政治姿勢
  - (1) 苫小牧国際リゾート構想について
  - (2) 苫小牧駒澤大学について
- 2 市職員の確保について
- 3 移住、定住、長期滞在の促進について



多職種連携の情報交換は幅広い視点から、情報共有する上でニーズが求められており、高齢化が進む苫小牧での活発な議論を進めることが重要と指摘をしました。

市側は、多職種による理解や考えの相違を減らし、共通理解を少しでも増やすことが重要との考え方を示しました。

# 公明党議員団

池田 謙次・神山哲太郎・大西 厚子  
藤田 広美・大野 正和



池田謙次 議員

【IRの現状と今後について】  
知事が申請しないと決断した理由「自然環境調査が間に合わない」しかし、「50ヘクタール以下の場合は、調査の必要なし」と道の環境条例であります。必要のないとされる調査を市民に配慮しおこなっているもので、その点を断念の理由とした真意を聞きました。

【勇払地区お風呂問題について】  
70歳以上の単身世帯で11月から開放され、現在24名の方が利用し喜びの声があがっています。

【学校給食の無償化について】  
小中学校給食の第三子以降の無償化が20年10月スタート。システム改修などで新年度の4月スタートは間に合わず残念でしたが、大きく前進しました。



藤田広美 議員

常任委員会での質疑（抜粋）  
総務委員会では、新たな行政改革プラン素案のICTの活用を質

疑しました。RPA<sup>※</sup>の導入では人事管理業務や市民税業務などで実証試験を行い、AIの活用は庁内向けヘルプデスクとして導入し検証する、民間委託の拡大では電話交換業務について有効な手法を検討しながら民間委託の取り組みを進めると答弁がありました。新苫小牧情報化計画案では、災害時に役立つ被災者支援システムに地図情報(GIS)の活用や全庁的に使えるGISの一体化を提案しました。タブレットを搭載した消防・救急活動では、翻訳アプリによる多言語対応や傷病者の画像転送・救急搬送先の特定などの効果があり検討しているとの答弁がありました。



神山哲太郎 議員

ふるさと納税の新たな展開について質問し、企業版ふるさと納税では、総合戦略を進める上で有効な手法で、企業は税控除のメリットがあり、寄付件数の増加が予想されることから提案しました。他の自治体も参考にしながら取り組んでいきたいとの答弁がありました。



大西厚子 議員

発達障がい児への切れ目のない支援について質問し、発達・教育支援システムなどの取り組みを求め、まずは、教育・福祉のスムーズな連携と保護者の利便性向上から個別支援計画などの書式を統一することを積極的に協議したいとの答弁がありました。

その他、肺炎球菌ワクチンについて質問しました。

不登校対策で、スクールソーシャルワーカーの担当件数が年間一人あたり約200ケースの実態を受け、人員増の体制強化を提案しました。人員数は厳しい状況だが、支援の質の向上のため研修をおこなっているとの答弁がありました。

適応指導教室の施設の拡大を求め、必要性を認識し、利用可能な施設などがないか調査研究すると答弁がありました。ICTの活用や訪問教育の検討、フリースクールなどの学びの場の拡大について質問しました。

ほか、ESD（持続可能な開発



大野正和 議員

のための教育)について、多胎育児支援について、妊婦・配偶者などの禁煙対策について、インフルエンザワクチンの助成についてなど質問しました。

各種公共施設における福祉サービスについて、全公共施設で貸し出し用の車いすがない割合は約3割ということ聞き、「ふくしのまちづくり苫小牧」で配置すべきと提案しました。さまざまな用途に活用できると19年度中に全公共施設に配置すると答弁がありました。

苫小牧市こども通園センターおそろ園の療育支援体制について質問しました。障害児通所支援事業所は市内25カ所、おそろ園は令和2年度から北海道が進める「一市町村中核子ども発達支援センター」へ移行するとの答弁がありました。民間事業所への支援や幼稚園保育園への支援、児童やご家族相談支援が充実されます。

行政の情報化について、雇用の対策についても質問しました。

# 日本共産党市議団

小野寺幸恵・原 啓司・富岡 隆

# 改革フォーラム

松井 雅宏・越川 慶一  
首藤 孝治・牧田 俊之

●「IRのないまちづくり」  
鈴木知事がIR誘致の見送りを表明したことから、「IRのないまちづくり」に舵を切るべき」と迫りました。市長は、「IRは未来に向けた手段であって、これからも臨空ゾーンでの発展とダブルポートを生かした都市戦略は重要だ」と思っている」と答えました。

また、6年間にわたってIR推進に8,000万円を超える多額な市民の税金を使っており、「ドブに捨てたようなものだ」という市民の声もある。「市長は反省すべきであり、どう責任を取るのか」と追求しました。

市長は、「IRにかかわる予算を使ってきたことに対する責任は感じている。得たものもあり、次のまちづくりに努力していきたい。決して無駄にはしない」と答えました。



富岡 隆 議員

●子ども医療費助成の対象拡大  
子育て支援として6年生までの通院医療費助成の拡大について提案しました。財源として、幼児教育の無償化により、今まで市が独自に助成していた不要となる費用の活用を求めました。

●生活保護受給者の健康管理支援  
生活保護受給者の健診の受診率と健康管理について質問しました。国保の特定健診と比較して受診率、受診勧奨ともに格差があることを指摘し、せめて国保並みの健康管理支援をおこなうよう求めました。

●苫小牧駒澤大学について  
京都育英館に経営移管後、カリキュラムの変更で学生に不安が広がっていることを指摘しました。定員割れが続いている状況から地元高校生から選ばれる大学になるために、大学とのコミュニケーションを取るよう求めました。



原 啓司 議員

●日豪共同訓練  
日本で初めてとなる日豪共同訓練が19年9月〜10月にかけて千歳基地を拠点におこなわれたため、状況について質問しました。訪問部隊地位協定締結の交渉が進められていることから、「地位協定が締結すれば訓練が活発になる」と指摘し、市民の安全安心の立場で迅速な情報収集をするよう求めました。

●日米共同訓練  
20年1月22日からの日米共同訓練ではオスプレイが使用され、給油・整備で千歳基地を活用すると報告がありました。

それを受け、「17年のオスプレイの訓練以上に苫小牧の上空を飛行する可能性が大きい」「他の戦闘機以上に事故率が高く、12年と比較し17倍になっている」と指摘し、市として特別な対応を取るよう求めました。



小野寺 幸恵 議員

●無所属  
議員 高秀 高秀  
世相、報酬などの状況も踏まえた議論になってくると思いますが、それを踏まえた上でも定数の削減は如何なものかと考えます。

この定数の件に関しましては、これからさまざまな議論になると思いますが、令和2年末までにはしっかりと結論を出すということですので、私も市民の皆様の見聞きをききながらこの議員定数に関して考えていきたいと思えます。



牧田俊之議員



一般質問動画



首藤孝治議員



一般質問動画



越川慶一議員



一般質問動画



松井雅宏議員



一般質問動画

【洪水ハザードマップ】台風19号により東日本を中心に洪水氾濫被害を受け、最大規模想定で新たに洪水ハザードマップを作成する動きがあるため市内を流れる中小河川も含めるべきと提案しました。

【交通事故対策】東京都などで導入している「後付け踏み間違え防止装置購入補助」について本市での導入を提案し、国の制度の補完を想定し21年度の実施に向けて進めるとの答弁があり「安全運転サポート車購入補助」制度についても紹介がありました。

【統合型リゾート】申請を見送るとして知事の判断を受けて、これまでの調査などで得られた成果の活用、環境影響調査の継続、財政計画への影響などを質問し「申請主体が都道府県となったことが想定外だった。国際リゾート構想の実現に向けて引き続き取り組みを進めると市長答弁がありました。

【医療的ケア児(者)について】医療的ケアが必要なお子様をお持ちの保護者の皆様は、たん吸引や経管栄養など、お子様が生きていく上で必要な医療的援助を24時間365日お子様に付きっきりで対応されております。医療的ケア児(者)の質問に関しては3年ほど前から議論させていただいており、中でも医療的ケアが必要なお子様を安心して預けることができるショートステイ事業を1日でも早く設立する必要があることを強く要望し質問しました。19年度市政方針の中で市長も「医療的ケア児の短期入所支援などの実現に向けた検討を進め、障がいのある人へのさらなる支援に取り組む」とあり、現段階においてショートステイ事業設立に向けた準備が確実に進捗していることを確認しました。また、停電発生時の緊急避難場所についても質問しました。

【議員定数4減を提言！】全員協議会で議員定数について議論し、さまざまな算定根拠がありますが、私は現在の定数28名から4減となる定数24名を提言しました。市議会では、今後の人口減少に伴う収入が減少することが予想される中、行政側に対して各種事業における費用削減を求めています。これは議会も同様であり議員も身を切る思いを持って臨まなければならぬと考えています。また、平成28年11月から平成30年7月までは、26名(2名欠員)の状態では、議会が運営されており、常任委員会の構成など課題はありましたが、特に不具合なく運営されていたことから定数削減は十分可能な範囲と考えます。定数削減により市民の声が反映されないとの意見もありますが、議会と市民との意見交換会を実施するなど議会改革の中で解決策が見出せるかと考えます。

【在留外国人対応】市内の外国人在留者の急増を踏まえ、第2期苫小牧市総合戦略へ在留外国人対応を盛り込むと共に国の交付金を有効活用した相談窓口の体制強化を求め、20年度に民間委託による相談体制設置を検討する答弁がありました。同時に19年4月に施行された新たな特定技能制度を活用し、現在の外国人の技能実習が苫小牧に住み・働き続けてもらうために必要な手続きを担う登録支援機関の市内への設置を求めました。

【CCS実証試験】CO2の圧入作業が終了したことで当初に想定した施設の建設や雇用など200億円の地元経済への波及効果の検証。また、300億円の設備投資といわれる苫小牧の実証試験施設を本格的な実用化や次の展開であるカーボンリサイクルに活用するよう地元関係者の理解を得ながら国に求めるべきと質問しました。

# Pickup ピックアップ!!

## 市民に身近な開かれた議会をめざして

### pickup ① 第4回 市議会だよりフリートークを開催しました!

フリートークでは、読みやすくわかりやすい市議会だよりをめざして、市民の皆さんからのご意見、ご感想をお聴きしています。

4回目となる今回は、市内でライターとして活躍している方々、市民団体の皆さんにご参加いただき開催しました。貴重なご意見ご感想ありがとうございました!

フリートークではどんな意見や感想がでたの?



とまこまの知っtoma市議会

子供の写真や、アクティブな写真が親しみやすいのでは。etc.



文字が大きくなったので読みやすくなりました。etc.



伝えにくいものなどの特集を組んでは? etc.



参加団体：苫小牧市明るい選挙推進協議会・苫小牧民報社・株式会社OTis・紙の街の小さな新聞社ひらく

### pickup ② 第5回 議場コンサート

- ★日時 令和2年2月20日(木) 12:15~12:45
- ★場所 市役所11階 本会議場
- ★出演 歌手：門田 しばりさん

入場無料



門田 しばりさん

今回は苫小牧市在住で、とまこまい観光大使でもある歌手の門田しばりさんによる議場コンサートを開催いたします。この機会に議会の傍聴もかねて、お気軽にお越しください。

- 《プロフィール》
- ・24時間TV苫小牧リポーター
  - ・ミュージカル赤毛のアン出演
  - ・THEカラオケ★バトル全国統一! 最強歌うま王決定戦準優勝(2年連続)
  - ・2018年とまこまい観光大使就任

### 議会日程のお知らせ

● 第6回 市議会定例会 ※1回の傍聴につき100ポイント。(本会議に限ります)

月日	内容	場所
2月19日(水)	陳情締切り(17:00まで)	10階
2月20日(木)	本会議(市政方針・教育行政執行方針・議案等審議)	11階
2月27日(木)~2月28日(金)	本会議(代表質問・議案等審議)	
3月3日(火)~3月10日(火)	一般・企業会計予算審査特別委員会	9階
3月11日(水)	常任委員会	9階、10階
3月12日(木)	特別委員会	9階、10階
3月13日(金)	議会改革検討会	9階
	本会議(議案等審議)	11階

※2月20日、27日、28日、3月3日から3月12日の開始時間は10時(予定)からになります。(3月13日は未定です)  
※日程などについては変更になる場合があります。(土日祝日は休会)  
詳細は議会事務局にお問い合わせください。

### 編集後記

市議会だよりの担当になって、3回目の発行となりました。市民の皆様にご覧いただき、ありがとうございます。市民の皆様にご覧いただき、ありがとうございます。市民の皆様にご覧いただき、ありがとうございます。

とまこまい市議会だより  
編集委員 橋本 智子

とまこまい市議会だより編集委員会  
板谷 良久・山谷 芳則・大西 厚子・大野 正和・橋本 智子  
越川 慶一・原 啓司・桜井 忠・触沢 高秀